



**(一財) 機械振興協会経済研究所 主催
第461回 機振協セミナーのご案内**

「食のダイバシティ（多様性）維持のためのロボット活用」

サービスロボット産業の現状と市場形成条件に関する調査研究からの報告

人々の生活、特に「食」とロボットの関係を考えるとき、ロボットはどこまで持続可能な社会に向けた取り組み、SDGs（持続可能な開発目標）に対して貢献ができるのだろうか。「食」の分野に関して、ロボットは大量生産、長時間・長期間操業による効率化に貢献し、人々の生活の基盤を支えてきたし、今後はより大きな貢献が期待されている。しかし、他方で、多品種少量、季節のみ・地域のみで生み出される、多様性を持った「食」に関してロボットが貢献することは、採算性の問題などから、決して多くはないのが現状である。そのような多様性のある「食」に関わる産業では人手不足が深刻で、存亡の危機に瀕していることも多く、それがひいては地域の疲弊と食文化の衰退の危険性すらもたらしている。この重要な課題である「食のダイバシティ（多様性）の維持」にロボットを活用することは可能だろうか。ロボットにとっての大きなチャレンジであり可能性として、問題提起をする。

■ **開催日時** 2023年5月29日（月） 13：30～15：00

■ **開催方式** WEBシステムにより開催
事前申込制（先着100名 参加費無料）

■ **講師** 機械振興協会 経済研究所 調査研究部
研究副主幹 森 直子



■ **モデレータ** 経済研究所所長代理
機械振興協会理事 北嶋 守

申込み受付は、<https://forms.gle/XA2Q59xwqZf65Qzi6>
（もしくは右のQRコード）より 5月25日（木）までにお申込み下さい。



受付完了後メールにてWeb会議参加要領をお送りします。受講票は発行いたしません。
受講時にご使用していただく資料は後日メールにてお送り致します。
なお、ご提供頂く個人情報、当協会セミナー、講演会及び展示会関連等以外に使用致しません。
WEB会議中の画面録画や録画した映像の転載は禁止させていただきます。

お問い合わせ先 E-mail : somu3@jmf.or.jp
（運営委託先：日本機械工業連合会 総務）